

配電線付近における高圧線等接触・損傷事故事例について

過去の事故発生件数

	発生件数 (名古屋、岡崎支店分)
平成22年度	7件
平成23年度	15件
平成24年度	9件

中部電力からのお願い

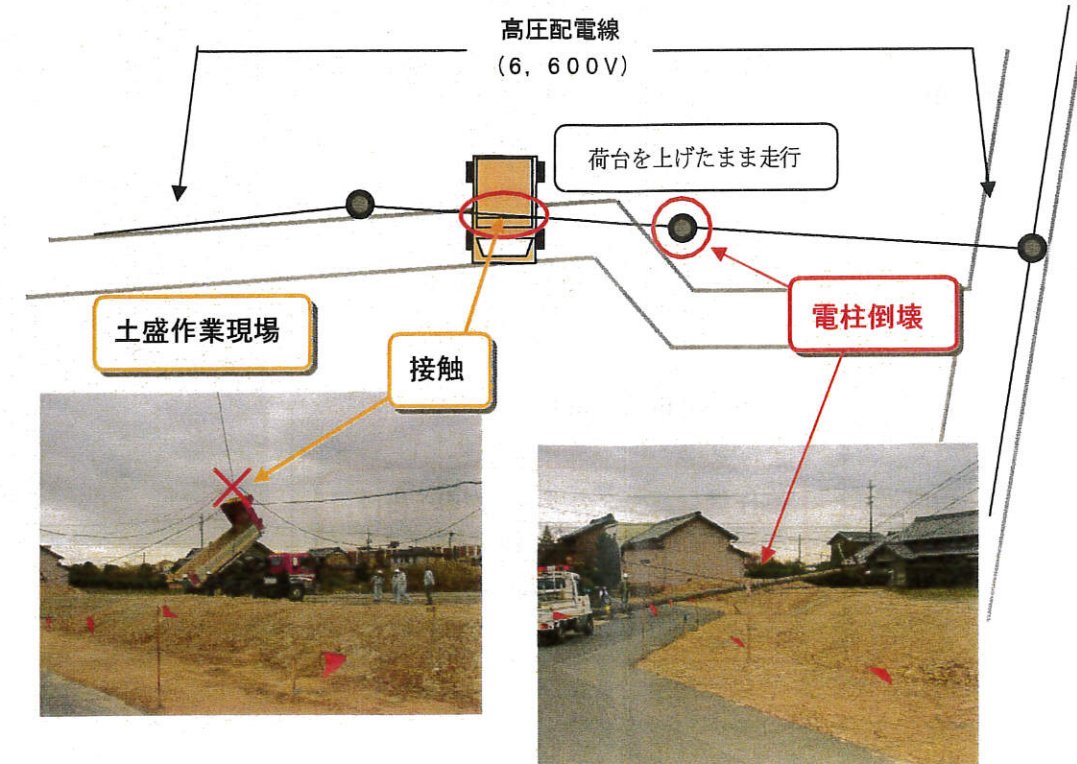
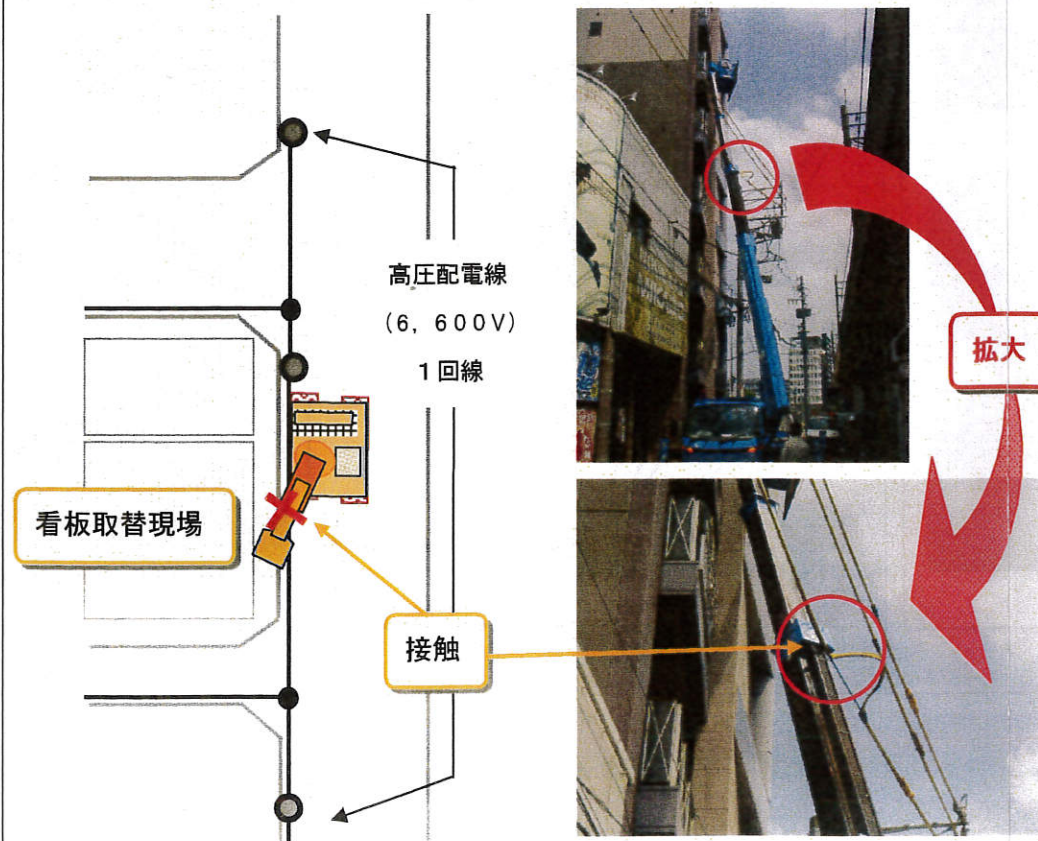
『感電災害の撲滅！ 地域のお客さまの停電事故防止！』に向け、
配電線等へ接近して作業される場合は、必ずお近くの中部電力営業所へ事前にご相談いただきますようお願いいたします。

事故事例 1

事故事例 2

事故状況	発生日時	平成23年 6月 8日 (水) 10時17分	平成23年11月25日 (金) 11時59分
	発生場所	名古屋市 北区 大曾根 3丁目 地内	名古屋市 港区 東茶屋 1丁目 地内
	発生概要	看板取替作業中にブーム操作を誤ったことにより高圧線に接触した。	土盛り作業中のトラックが荷台を上げたまま走行したことにより弱電ケーブルに接触し、電柱の倒壊および高圧線が損傷した。
	原因(推定)	高圧線の存在を認識していたが、作業員の不注意により接触損傷させた。	高圧線を認識していながら作業員の不注意により損傷させた。
被害状況	最長停電時間	1分	303分
	総停電お客さま数	471戸	1,470戸
	弊社への損害賠償金額	約5万円	約180万円

状況図

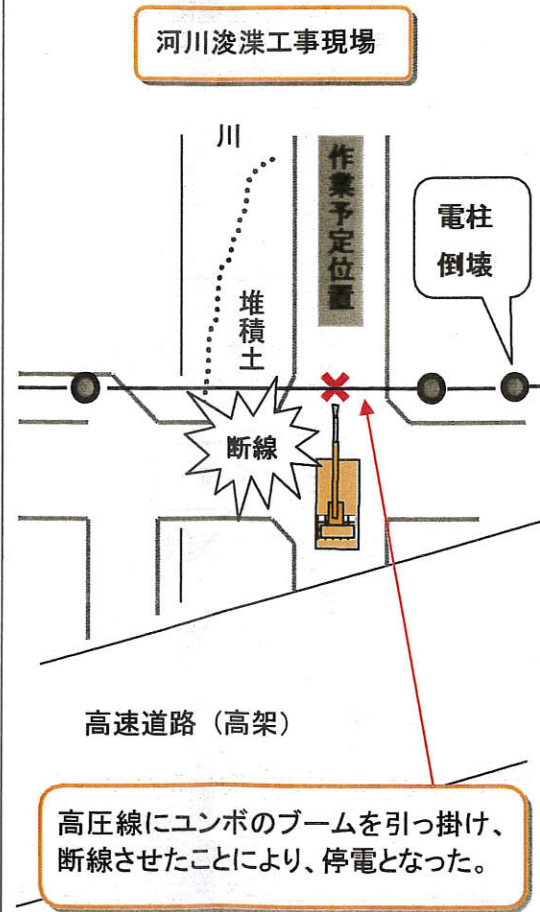


事故事例 3

事故事例 4

事故状況	発生日時	平成17年1月21日(金) 13時18分	平成22年 9月 3日(金) 15時45分
	発生場所	豊田市 上郷町 地内	豊田市 竜神町 地内
原因(推定)	発生概要	河川浚渫工事において、ロングアームユンボを移動させた際、アームが弱電ケーブルに引っ掛かり、電柱の倒壊および高圧線の断線に至った。 感電負傷なし	家屋建築中の建築用クレーンが、電柱間の高圧線(6,600V)にブームが接触したため、停電した。
	原因(推定)	通行車両に気を取られ、弱電ケーブルとアームとの離隔距離を確認していなかった。また、現場を一度通過したことがあったため、現場監督者・重機操作者ともに通過できると思い込んでいた。	建築用クレーン操作の監視が十分でない中、作業者が建築用クレーンの操作を誤り高圧線に接触させた。
被害状況	最長停電時間	2時間31分	29分
	総停電お客さま数	約1,100戸	350戸
	弊社への損害賠償金額	約170万円	無し

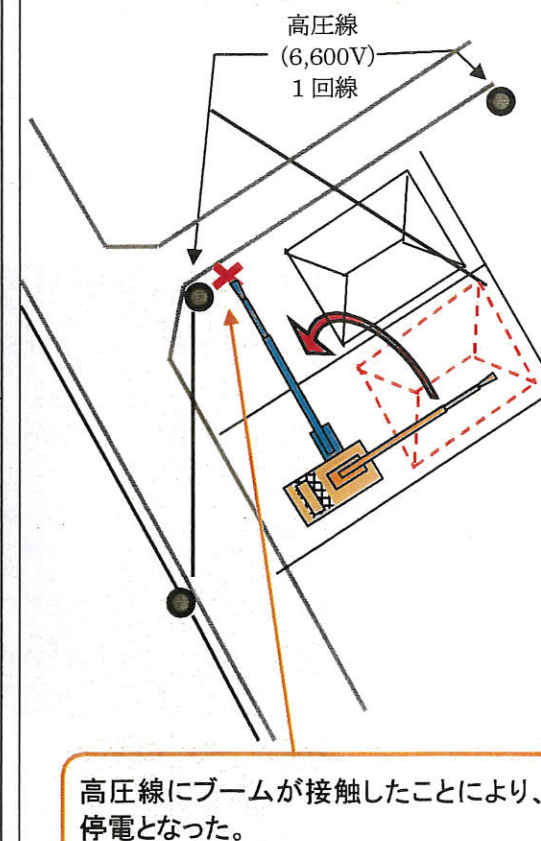
状況図



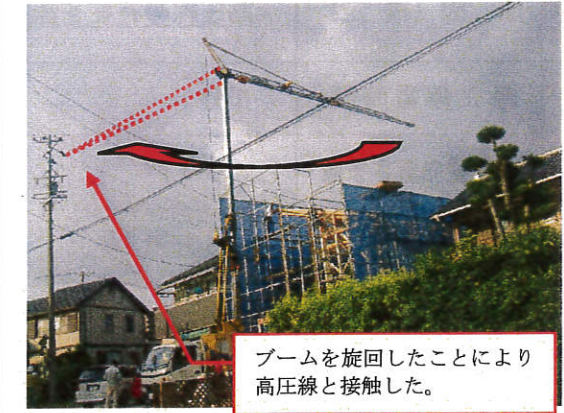
被害状況図



家屋新築現場



現場状況写真



以上